

パソコン・いわくら教室新聞

パソコンは使っていると、使い始めた頃と比べて動きが遅くなつてくることがあります。そんなパソコンを少しでも快適に使えるように設定を見直してみましょう。

なぜ遅くなる?そして対策

パソコンが遅くなる原因は色々あります。パソコンは実際に自分が作業を行つていて、外に見えないところで様々な処理が行われています。必要なものもあれば無駄なものもあります。無駄をなくしていくと動きも軽やかになります。無駄な動きを停止して、更にごみ掃除も行いましょう。

①裏で行われている処理を停止

このような処理を「バックグラウンド処理」といい、これが行われているアプリを停止します。セキュリティーアプリの「Windowsセキュリティー」や「Microsoft Defender」以外は停止しても問題ないでしょう。

②ウインドウの透過効果を停止

ウインドウの上や下の一部を透過させて背後のものが透けて見える効果ですが、結構負荷がかかります。

③視覚効果を停止する

画面を滑らかに見やすくするために様々な効果が付けられています。これも負荷を高める原因です。(✓アイコンのかわりに縮小版を表示する✓スクリーンフォントの線を滑らかにする✓ドラッグ中にウインドウの内容を表示する、の3項目は✓を残すと良いでしょう)

アイコンのかわりには、ファイルを表示したときにアイコンをイメージで表示します。(下図)

オフになるとアイコン表示になり、特に画像などでは内容が分からなくなります。

④OneDriveの同期処理を停止する

オンライン上のストレージと同期する処理ですが、OneDriveを使用していない方にとっては全く不要な処理です。(OneDriveは無料サービスでは5GBの容量しか使えません)

⑤電源プランを見直す

パソコン心臓部の機器「CPU」、電力消費を抑えるために、バッテリーでは電力消費を低く設定し最小限で働くように設定してあります。電源接続時でも同様の設定となっています。電源接続の時は常に最大限働いてもらいましょう。

⑥ごみ掃除

パソコンは常にデータの読み書きを行い動いています。時には不要なデータを上手く消去できずに残る場合があります。また、アップデートが行われたあとに残るデータなど。スキヤンディスクを行い不要なデータは削除しましょう。削除の順は①システムファイルのクリーニングアップ②デイスクリーニングアップ、で行います。

⑦整理整頓

ごみ掃除が終わったら、パソコン内を整理整顿しておきましょう。といつても見える部分ではなく、見えない部分です。パソコンでの保存は、ディスク内の空いているところにランダムに保存します。見た目は何も途切れていないように見えますが、実は内部ではあちこちに断片化されて保存されています。それを整理します。「デフラグ」という処理です。断片化されていると読み書きに時間を要します。それをなるべく一つにする処理です。

各種設定の変更を行つても、「劇的に」ということではありませんがやる価値アリです。

各設定手順は、教室ブログに掲載します。参考して設定にチャレンジしてみてください。

Windows 11では、設定が少しややこしくなっている感じです。

